

美しくて明るく豊かなまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第103号



題字は岸信介先生書

2009年(平成21年)10月23日

発行 / 〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎082(0)52)6800 FAX082(0)52)6970

編集 / 議会広報広聴調査特別委員会 印刷 / キッショウ株式会社

<http://www.town.tabuse.lg.jp/>

E-mail: gikajimukyoku@town.tabuse.lg.jp



さあ 応援 !! 田布施中学校運動会 (9月13日)

9月定例会	平成21年度補正予算 災害復旧関連等の予算を可決	2P
委員会レポート		3P
一般質問	学校給食 民間委託計画等を問う	4P
議会だより	102号を読んでの感想です	9P

9月定例会

平成21年度補正予算

災害復旧関連等の予算を可決



本 会 議 (9月10日)

平成21年9月定例会は9月10日から18日までの9日間の日程で開催されました。本定例会では、決算1件、補正予算5件、条例1件、人事2件の計9件の町長提出議案を審議しました。なお、初日の本会議では、5人の議員が一般質問を行いました。

町長提出議案

20年度決算認定

一般会計及び特別会計
一般会計の歳入総額は55億860万円、歳出総額は54億3791万円です。

差引額(形式収支)は1億4812万円となりました。歳入では、町税が前年度に比べ2・1%増の18億8734万円、地方交付税も地方再生対策費の創設等により5600万円増の16億289万円と

なりました。歳出では、東田布施小学校改築事業及び東田布施児童クラブ施設整備事業や布奈橋改良復旧事業などで、前年度より2億4300万円増となっています。また、特別会計5会計の歳入合計額は38億7308万円、歳出合計額は38億314万円で差引額(形式収支)は6994万円となりました。

【賛成多数】

21年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ5億3370万円追加し、予算総額54億9050万円とするものです。

主な歳入

町税

5000万円減

地方交付税

1億3563万円増

国庫支出金

2億7098万円増

主な歳出

保育所耐震補強工事 5335万円

災害復旧関連

6927万円

公営住宅等整備

7000万円

【全員賛成】

国民健康保険特別会計

歳入では、前年度精算による療養給付費と繰越金の増額で、歳出は、前年度療養給付費の償還金の増額補正です。

【全員賛成】

老人医療特別会計

医療費の前年度精算による補正です。

【全員賛成】

下水道事業特別会計

申告に伴う消費税の減額のほか、事業費や財源の組替え等の補正です。

【全員賛成】

介護保険特別会計

異動による人件費の減額のほか、繰越金や前年度精算による介護給付費負担金の返還金及び介護給付費準備基金積立金の増額補正等です。

【全員賛成】

条例

使用料及び手数料条例の一部改正
法改正による条文の整理及び使用時間における端数の取扱いを明記するものです。

【全員賛成】

人事

固定資産評価審査委員の選任



加藤 一生氏

町固定資産評価審査委員会委員の加藤一生氏(定井手)の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任するものです。

【全員賛成】

教育委員会委員の任命



櫻井 清美氏

町教育委員会委員の松原砂子氏が本年10月19日をもって任期満了になるため、櫻井清美氏(大國木)を任命するものです。

【全員賛成】



連合審査会（9月14日）

委員会レポート

総務文教・経済厚生

連合審査会

総務文教委員会に付託された議案「平成20年度田布施町歳入歳出決算の認定」については、9月14日に経済厚生委員会と連合審査会を開催し、慎重に審議しました。

Q 固定資産税の不納欠損額について対象となっているものは、ほとんど収入にならない額ではないか。法的手続きをとったかどうか。

A これについては、ほとんどが納税義務者不存在である。課税は廃止することが出来ないが、執行停止等法的手続きについては、今後検討していく。

において、前年度と比較して職員給与は減額になっているが、時間外勤務手当は増えている。これは選挙の関係か。

A 選挙事務と定額給付金支給事務が大きなものである。Q 地球温暖化対策地域協議会委員報酬とあるが、この協議会の役割は何か。

Q 裁判員候補者名簿システム構築委託料とあるが、候補者は何名か。

A これは裁判員候補者のグループ作成システムで、町としては無作為に抽出して、35名のデータを山口地方裁判所に送る。

Q 20年度決算

Q 決算審議の中で指摘事項について、平成22年度予算に反映するようにしてほしいが対応は。

A それぞれに職員が対応できる態勢をとる。



経済厚生委員会（9月16日）

経済厚生



総務文教委員会（9月16日）

総務文教

総務文教委員会は9月16日に開催し、町長提出議案の「20年度決算」、「21年度一般会計補正予算」及び「田布施町使用料及び手数料条例の一部改正」を審査しました。

21年度一般会計補正予算
Q 法人税の落ち込みは、どういった業種か。

A 全般的にどの業種も悪い状況である。

Q 政権交代により今回の補正予算も不確定なものとなっている。これに対する町の対応は。

A 状況判断が非常に難しい。予算執行ができるように国・県に要望する。

Q 農業振興地域の見直し

について、なぜ土地改良事業団体連合会に委託するのか。

A 国営は場整備事業を進めているので、併せて行った方がより効率的なのができる。

Q なぜ小行司地区で地下かんがいシステムを実施するのか。

A 実証ほ場の整備に最も適した地域であるため。

経済厚生委員会は9月16日に開催し、町長提出議案の「21年度補正予算関係4件」について審査しました。

21年度一般会計補正予算

Q 小規模治山事業において、今回の補正予算で何件工事できるのか。

A 18件出来る見込み。県補助の関係で、12月頃にははつきりする。

Q グループホーム建設補助があるが、これが完成したら「ふくしの里」構想は終わりか。

A まだ保健センターが残っている。これは位置の問題があり、今後検討する。

Q 新型インフルエンザワクチンについて、町内医療機関にどのくらい確保されているのか把握しているか。

A 今週に会議が予定されており、はつきりするのではと考えている。

国民健康保険特別会計
Q 国保税の引き上げが予想されるが、何%か。

A 10月診療分の医療費の請求をまっけて検討する。

学校給食

一般質問



民間委託計画等を問う

9月定例会

学校耐震化事業

推移と現況を問う

石田 修一

早期に実施

尾崎教育長



石田 修一 議員

Q 21年度国の補正予算で学校耐震化事業実施のため作業を進めていると思うが、現況はどうなっているか。学校耐震化については、本町は全国でも下位に位置しており、児童の安全を考えた時早期の実現を願う。また、麻郷、麻里府の25年頃の統合問題はどうか。



麻郷小学校



麻里府小学校

る予定。補助金は当初より減額となるが、児童の安全を考え早期に補強工事を実施する。学校耐震化事業を実施するので、25年頃までの麻郷、麻里府の統合予定はない。

Q 東田布施小の工事は議会で説明し承認を得て進めており、全く問題は無いが、年度をまたぐ大型事業については、完成後に本件の総工事費、工事の経緯、総評等について最終報告をすべきで、議会への報告も当然だが、町民へ完成後の報告をす

A 本件の工事は18年度から4か年継続事業として実施。工事は年次計画通り順調に推移しており、今年9月末を工期に周辺整備を行っている。完成後の工事費や経緯等の最終報告は議会には本年12

完成報告は 広報で報告

東田布施小学校

石田

教育長

べきと思うが如何か。



東田布施小学校

その他の質問
合併浄化槽の推進と問題点について

地域の活性化

駅前開発を

石田

県と協調して

長信町長

Q 財政は厳しいが、地域の活性化は重要で強力に取組んでほしい。昭和60年当時は中心街が駅前付近のみで、今は中央南まで中心街が大きく発展した。行政がリーダーとなり商工会や町民を動かして実現した。本町の玄関である駅前を行政がリーダーとなり開発してほしい。

A 本町としては駅前の活性化は長年の課題です。以前よりは道路は整備したが、商店街はシャッターが下り活気がなく、夜



駅前

の駅前には外灯が少く暗い。今のところ商工会も商店街も活性化の話はできていないが、県立高校の統合もあり、県にお願いし引き続き話し合っていく。

7・21 豪雨災害

堤防復旧急げ

藤山 巖

応急工事で対応

長信 町長



藤山 巖 議員

Q 去る7月21日、山口県を襲った集中豪雨は、本町もかつて無い降雨で、治山・農林・土木等へ甚大な災害をもたらした。この災害で住民を不安と恐怖に陥れた関戸橋下流の田布施川左岸堤防の崩壊は、何時完全復旧するか、又、復旧に向けての努力は。

A 県が応急復旧工事を行い大型土のうで護岸を築き、又、矢板で補強している。引き続き関戸橋の撤去と左岸のブロック工事を今年度中に完成予定。町では早期に工事が完了するよう県に要請している。今の応急工事での度のような豪雨でも対応可能ということだ。



関戸橋下流の崩壊現場



崩落現場

冠水解消の目途は

藤山

対策を協議中

町長

Q 今回の豪雨で市街地の一本松から寿・八和田地区の住宅が浸水した他、主要町道や県道が冠水し周辺住民の生活に多大な影響を与えた。この地域の冠水は度々起きており解決が急がれているが、一向に進展しない。解決の目処はあるのか、あるとすれば何年後か。

A 市街地の雨水排水の大半は新堀川から灸川を経て田布施川に流れている。県管理の灸川・新堀川の

早期着工を要望せよ。

藤山

今すぐにはない 町長

Q 現行の地方自治制度の下では、国や県の依存事業無くして自治体の維持

運営は不可能である。本町における県の懸案事業を進展させよ、長信町政

改修が完了していない現状から、町の雨水渠整備が着手できない状況だ。即効性のある浸水対策を県と協議中で、当面水路の土砂の取り除きや清掃等に対応したい。



冠水(一本松自治会)

の県とのパイプを強化する意味から、町長自ら二井知事を訪ね災害等諸事業の早期着工を要望する考えはないか。

A 県との協力関係は非常に重要と考えている。特に田布施川等の河川改修事業は機会あることにお願いで、知事要望でも重点項目として早期完成の要望を行っている。今回の災害に関しての知事への陳情は時期をみて行いたいと考えているが今すぐにはない。

上関原発について

対応や情報提供は

岡崎南海子

国策として処置する

長信町長



岡崎南海子 議員

Q最近、田布施町に送電線を作る計画があった。もはや他の町の事とはいえずなくなった。原発について情報や知識の提供を積極的に行ったり町民を守る姿勢を問う。逃げ腰は町民の原発への恐怖心をそそる。

A3月に中電から送電線を作る計画の説明があった。町民への説明は工事計画が具体化した後にある。国策だから原発を作る前提の安全性への要望

は伝えるが、建設の賛否是非の意見は伝えない。広報は悪影響のときのみ行う。原発は田布施町に経済波及効果がある。



平生町田名埠頭

首長の選挙協力

次の選挙では何党

岡崎

考えていない

町長

Q6月議会の答弁で町長は自民党員で保守系と知った。「首長は与党と仲よくする」という考えからは、今度は民主党に協力するのか。一般的に首長意見でなく、田布施町長自身の意見を聞きたい。首長の選挙協力について8月に新聞に公表があり誠意ある回答を期待する。

A次の参議院選挙についての対応は考えていない。新聞取材のときと違い今は自分の意見はないしまた答えられない。「田布施町の利益」が基準になると思う。だから野党に協力することもありえ

衆院選での県内首長のスタンス(中国新聞8/15)

選挙区	候補者	所属政党	選挙活動
1	長信正治	自民	選挙活動が盛んなことについて
2	山本浩一	自民	選挙活動が盛んなことについて
3	山本浩一	自民	選挙活動が盛んなことについて
4	山本浩一	自民	選挙活動が盛んなことについて
5	山本浩一	自民	選挙活動が盛んなことについて
6	山本浩一	自民	選挙活動が盛んなことについて
7	山本浩一	自民	選挙活動が盛んなことについて
8	山本浩一	自民	選挙活動が盛んなことについて
9	山本浩一	自民	選挙活動が盛んなことについて
10	山本浩一	自民	選挙活動が盛んなことについて

る。首長は公職選挙法で「地位利用による選挙運動」のみ禁止されている。

大和病院存続の心配

万一のときの町民救済は

岡崎

コミュニティバスを検討 町長

Q田布施町には総合病院がない。大和病院は町民には重要。光市では大和病院は一応存続としたが、その内容は検討中である。万一の時、周東病院や平生クリニックに病院バスを出すなど考えているか。

A大和病院の存否は田布施町では緊急性を理解し臨時機変の救済措置の意欲はあるか。

施町にとって大問題だと認識している。大和病院は地域医療にとって大きな役割を果たしている。病院バスは大和病院自体が無くなったときは出すが、一部廃科になった時は出さない。けれど町民の意見をきいてコミュニティバスを検討する。



光市立大和総合病院

新型インフルエンザ

対策は

国永美恵子

国・県の基準により対応

尾崎教育長
長信町長



国永美恵子 議員

Q 新型インフルエンザは誰でもが感染の可能性があります、今後、冬へ向けて感染拡大が予測される。新学期が始まり学校での集団感染も心配される。医療体制の強化はもろんのこと、適切な情報提供・広報も必要である。本町の新型インフルエンザ対策を尋ねる。

A 国の新型インフルエンザ対策行動計画、県の医療体制に係る基本方針等に準ずる措置を行う。

学校の対策は保護者との情報交換を密にし、感染予防・発症時の対応等

の周知、手指消毒液やマスクの設置を行っている。休校等は県の示す基準により慎重に対応する。



学校給食

民間委託計画を問う 国永

最終調整を行っている 教育長



給食センター

Q 本町の行政改革実施計画に学校給食の民間委託がある。給食事業すべてが民間委託になると、食育や学校給食法の目標・理念が失われる不安がある。調理業務委託は、法令違反の可能性もあると聞く。

A 学校給食業務の民間委託検討は避けて通れない課題。本町学校給食センター民間委託チームを設置し視察研修を含め、5回の会議を行っている。現在、最重要課題の安全性の確保と衛生管理について、また民間委託の経済効果及び導入時期の最終調整を行っている。

住宅用火災警報器

設置に支援を

国永

設置状況等により検討 町長

Q 2011年6月までに個人住宅への住宅用火災警報器の設置が義務化となる。山口県内の普及率は3月時点で26・5パーセントと聞く。

A 光地区消防組合火災予防条例で設置及び維持基

設置義務を知らない人もあり情報提供が必要。

高齢者や障がい者には支援制度を設け

その他の質問
社会教育施設での寄付等の扱いについて
国民健康保険、資格証明書について

高年齢者、障がい者世帯の助成は考えていないが、今後の状況により、必要性等、検討してみたい。



フリーデー参観日

いじめ防止策に

河内 賀寿

増やしたい

尾崎教育長



河内 賀寿 議員

Q いじめは、受けた子や親の話では、今も昔も先生や大人のいない時起きている。そこで最近実施

されている、朝から夕方まで参観日というフリーデー参観日をもっと増やしてはどうか。年一回実



フリーデー参観日(麻郷小)

のんびらんど・うましま

教育キャンプ復活は

河内

広く検討する

教育長

A 保護者や地域と、一体となった学校づくりに取り組んでいる本町としては、フリーデー参観日の活用が増えていくよう、各学校に働きかける。前任地で一か月毎日参観日を実施したところ、当面の問題が解決したところもあり、大変有効である。

施を、週一回やそれ以上とすれば、いじめ防止に役立つのではないかと。

定例会の流れ

本会議

- 開会** 議長の開会宣言で議会活動が始まります。
- 一般質問** 発言を通告した議員が、町政全般について質問し、執行部の説明を求めます。
- 提案説明** 町長及び議案を提出した議員が議案の提出理由と内容を説明します。
- 質疑** 議案の不明確な点について、議員が提案者に説明を求めます。
- 委員会付託** 議案を常設の2つの常任委員会に付託します。

委員会

- 常任委員会** それぞれの委員会に所属する議員が専門的に審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。

本会議

- 委員長報告** 各委員長が委員会での審査の経緯や結果を報告します。
- 質疑・討論** 委員長報告について質疑が行われた後、議案について、賛成・反対の意見が述べられます。
- 表決** 議案について、賛成・反対の議決を行います。
- 閉会** 議長の閉会宣言で議会活動が終了します。

A 学習指導要領の改訂等で、かつてのような教育キャンプの復活は難しい

Q かつて平成9年から16年まで、のんびらんど・うましまにおいて、町内小学5年生の教育キャンプが行われていた。現在、似たような行事は町外で体験している。町営施設の利用率向上や郷土愛を育てる事は、大事である。美しい馬島体験の復活はできないか。

状況である。しかし、各校で実施する自然体験学習等に際し、できるだけ馬島施設を利用した計画やプログラムづくりを検討するよう、各校長に働きかける。子ども時代の馬島体験は大事である。

一般質問のページは、質問者本人の原稿によるものです。



のんびらんど・うましま

議会だより

102号を 読んでの 感想です

〇・Tさん(60歳代男性)
 “議会だより”に議会の臨場感が伝わってこない！
 退職を機にリターンして数年たちますが議会がどの様な機能をもつて運営されているかも把握しないうでコメントする事には外れを心配しています。
 また限られた紙面のご苦労お察しますが、あえて！一つは定例会の町長提出議案は既に審議された内容の報告会ですか？良く分かりません！例えば耐震診断の費用の検証は、二つ目は関心の高い一般質問ですが質問される議員さんにとって問題意識の高い議題と思いま

す。議員さんがその問題をどうしたら改善できるのだと言う議員さんなりの見識、意見具申がなされたと思えますが、議会だより“に伝わってこない、また結果どの様に方向付けられたか、欲を言えば議員さんの健闘振りも伝わってくれば、議会だより“の興味も倍加すると思えますし、議員さんに対し町民も思いを託そうと思つてしょう。
 K・Yさん(60歳代女性)
 議会広報モニタの役を授かり再度目を通しました。
 表紙写真の田植えは子どもが楽しく一つの和と

なつて作業している姿が子ども時代を懐かしく思い出され、地域の人と話題になりました。
 議員さんの質疑内容に興味しんしんに関心もち読み取りました。皆さんの活躍の努力が身に染み安心感が生まれました。
 住民一人一人の期待が常にある事を忘れずに町政の活性化につながる事を維持し、明るい住みよい町づくりのかけ橋として頑張つて下さい。又議会だよりに関心をかきたてるよう一層の努力を期待しております。
 K・Sさん(50歳代男性)
 今回の大雨、川の土手が切れそう、道や水路が土砂で埋もれる。人々の対応もいろいろ。町道なので町がやらねば、生活に必要な事なら自分達で何とかしよう。町の財政人員、足りないものばかり。極論、自分達でできる努力をしない所への援助は不要。住みよく、人の心も身体も育つまにしたいものだ。目的が達成できる様、めんどつな

公のしくみがもつと町独自で改善され、いいまちなればいいなあ。しくみは人が作ったもの。もつといいしくみを作ればいい。暮らさせてもらっているのは私自身なのだもの。
 N・Kさん(50歳代女性)
 議会傍聴や議員さんとの懇談もままならない者にとつて、町議会だよりは、とても有難く拝読しています。今回号のトップ見出しの小学校耐震診断の歳出は、学校施設耐震化推進計画が平成19年に示され、先ごろの東海地域の地震発生もあって、昨年9月の一般質問から具体的な進展に安堵したところ。こういつた、一般質問が町民みなさんの有益な住み良さにつながるよう期待したいものです。
 二つの委員会レポートは紙面上の制約があるうかと思えますが、より一層の具体的な審議内容が掲載されれば、関心度が高まるように思います。

議会を傍聴してみませんか

町議会では、町民生活に関する重要な問題が審議されています。町政に理解を深めるため、ぜひ傍聴にお越しください。
 定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。
 本会議の傍聴を希望する方は、当日、傍聴席入り口の受付簿に住所、氏名等を記入していただくだけで傍聴できます。なお、定員は30名で先着順となっております。
 その他不明な点は議会事務局(☎52 5800)にお問い合わせください。

12月定例会のお知らせ

12月10日から18日までの9日間で開催される予定です。(一般質問は10日)。正式には、12月7日開催の議会運営委員会で決定します。

モニター懇話会

去る7月28日、議会広報広聴モニター懇話会を開催しました。
 出席者は、モニター10名、広報委員6名、議長、事務局長の18名です。

モニターさんは、102号(本年7月発行)から105号(来年4月発行)まで担当される方々です。

懇話会の中では、日頃議会広報について感じておられことや、思いについて、いろいろな意見や提案がありました。





学校給食 国永 美恵子

学校給食と言えは「脱脂粉乳」と答えが返って来るのが私と同年代の方々ではないだろうか。

私は城南小学校の卒業であるが、今でも憶えているのは食材当番があった。灯だ。常連さんの笑顔が浮かぶ。「ここに来てみんなと話をするのが一番の楽しみだよ。」とお年寄りの声。サービスのコーヒートと焼きたてのパンを食べながら焚き火の周りは話の輪が広がる。

議員リレー随筆



朝市 木本 睦博

真冬の朝6時はまだ暗くて寒い。軽トラに積んだ新鮮な野菜も凍ってしまっただ。遠くで薄らと明かりが見える。

お客さんがドラム缶で焚き火をして待っている大波野朝市の安心・安全・新鮮をモットーに大波野朝市はみんなの憩いの広場だ。東の空に真つ赤な太陽が昇る頃朝市は終る。一度はおいでませ朝市に。



山口県自治研修会

去る9月30日、山口市「セントコア」において山口県自治研修会が開催されました。本町議会からは議員11名が出席しました。講師は、テレビ朝日キヤスター・コメンテーターの三反園訓氏で、「舞台裏から見た今後の政局・政治展望」と題して、政治家との関わりや現在の政権交代にまつわる話題など、地方ではなかなか知りえない話に、皆熱心に聞き入りました。



町議会実務研修会

去る7月31日、山口市「セントコア」において平成21年度町議会実務研修会が開催されました。本町議会からは議員12名が出席しました。「地方議会の運営と改革について」と題して、全国都道府県議会議長会元議事調査部長 野村稔氏が講演されました。地方議会の役割や議員の活動、議会や委員会の運営、今後の議会改革まで幅広い分野での研修を行いました。

編集後記

新政権がスタートした。年金問題、景気対策、公共事業の見直し、官僚の天下り問題、少子化対策、インフルエンザ対策等々取り組むべき課題が山積している。政府であれ、企業であれトップに立つ人は職務を把握した上で部下を使いこなす経営手腕が必要である。またトップの人材にはそれ相應の能力が求められる。最近把握せずに部下に任せっきりでおかしくなるケ スが多く見られる。経営不振の航空会社にも言えそうだ。新政権には国民の期待も大きい。日本の将来を見据えてしっかり取り組んでほしい。田布施町も取り組むべき課題がたくさんある。町長には自身の報酬を削ることよりもしっかりと町政の舵取りを行ってほしい。多くの町民はそれを期待していると思う。

議会広報委員